

— 魅力ある地域づくり活動を応援します！ —

福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）

令和3年度実施事業紹介

◆ 福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）とは？

地域の皆さんが主役となって行う地域づくり活動のうち、地域の課題を踏まえ、地域の特性を生かした個性と魅力あふれる地域づくり事業の立ちあげを支援する補助制度です。

◆ どのような事業が対象になるの？

地域づくりに資する事業が対象です。（既存事業は対象になりません。）

事業の内容や事業を実施する団体、主な実施場所となる地域等により、活用できる「枠」や「補助率」が異なります。

「枠」は、大きく分けて「一般枠」、「市町村枠」、「過疎・中山間地域活性化枠」の3つの枠があり、「過疎・中山間地域活性化枠」はさらに「集落等活性化事業」、「収益事業（里山経済活性化事業）」、「収益事業（スタートアップ支援事業）」、「複数集落にまたがる課題解決に取り組む実証事業」の4つに区分されます。

※上記は、令和3年度時点の内容です。事業枠等は毎年度更新される場合があります。

（参考）いわき市内の過疎・中山間地域

旧箕輪村、旧川部村、旧上遠野村、旧入遠野村、旧田人村、旧上小川村、旧永戸村、旧沢渡村、旧三阪村、旧大野村、旧川前村、旧大久村に該当する地区

各枠の補助内容等、詳しくはいわき地方振興局のホームページをご覧ください。

【ホームページ】福島県いわき地方振興局企画商工部 地域創生総合支援事業（サポート事業）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/iwaki-kikakusyokou-top/support-top.html>

相談先：福島県いわき地方振興局企画商工部地域づくり・商工労政課 サポート事業担当

TEL：0246-24-6006 FAX：0246-24-6019

Email：iwaki_chiiki@pref.fukushima.lg.jp



令和3年度実施事業一覧

◆一般枠

- ①『田人ワークキャンプ・ビレッジ』プロジェクト
(田人里山再生委員会)
- ②三和町地域活性化事業
(NPO法人MOCCS)
- ③光と食の祭典～いわきWinter Festival～
(公益社団法人いわき青年会議所)
- ④高校生が取り組む地球規模の環境問題プロジェクト
(特定非営利活動法人勿来まちづくりサポートセンター)
- ⑤バーチャルコットンツアー&SDGs研修受け入れ事業立ち上げプロジェクト
(一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト)
- ⑥いわき地域のマリンスポーツ活性化による風評払拭及び交流人口拡大事業
(一般社団法人日本サーフィン連盟福島支部)
- ⑦いわき市ワーケーション推進事業
(いわき市シティセールス推進協議会)
- ⑧冬の風物詩づくり「クリスマスマーケット」開催事業
(小名浜クリスマスマーケット実行委員会)
- ⑨ふくしまスポーツ未来プロジェクトinフラシティいわき
(ふくしまスポーツ未来プロジェクトinフラシティいわき実行委員会)

◆過疎・中山間地域活性化枠 収益事業(スタートアップ支援事業)

- ⑩遠野和紙継承
(遠野和紙系の会)

『田人ワークキャンプ・ビレッジ』プロジェクト

【実施団体】 田人里山再生委員会

【実施場所】 田人地区（一般枠・新規事業）

〈一般枠〉

地域づくり団体の皆さんが行う地域の活性化に効果があると認められる取組みが対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】 2/3以内 【補助限度額】 500万円

【補助対象事業費の下限】 50万円

主な事業内容

①活動拠点（コミュニティハウス）のセルフビルド

イベントやワークショップ形式で一般の参加者を募りながらセルフビルドで活動拠点（コミュニティハウス）を建設。

②子供達と休耕田を利用した米作り体験

田人小中学校の全生徒と市内の学童の子供達と共に、休耕田となっている田んぼを活用し、米づくり体験（田植え、収穫、脱穀）を実施。

事業目的

地域内外の人と共に田人町の地域課題に取り組む『ワークキャンプ・ビレッジ』を運営することで、田畑山林を活用している人への活力となり、地域の活性化を図り、関係人口の創出・移住促進に繋げる。

事業効果

- ①拠点の整備に多くの参加者が訪れ、田人町を知るきっかけとなった。
- ②稲作を通じて世代間交流の創出や、里山の多面的機能を守ることができた。

今後やってみたいこと

- ・里山整備事業（ワークキャンプ）を行い、関係人口の創出に貢献する。
- ・拠点のレンタル事業を行なうことで、住民同士や、町内外の交流の場を作り出すだけでなく、資金を得ることで本プロジェクトの持続可能性を確保する。
- ・子供達とブランド米の新たな商品開発を行い、地域の魅力に繋げる。

活動状況写真



拠点に使用する柱の皮むき体験



田植え体験

三和町地域活性化事業

【実施団体】NPO法人MOCCS

【実施場所】三和地区（一般枠・新規事業）

〈一般枠〉

地域づくり団体の皆さんが行う地域の活性化に効果があると認められる取組みが対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】50万円

主な事業内容

①「いこいの学校長居小」にて健康支援の催しを実施

シルバーリハビリ体操やグランドゴルフなどの健康フェアを開催。

②三和地区の巡回(住民調査アンケート)

地区住民の生活における困りごとや健康状態を把握するため、地区を巡回してのアンケートを実施。

事業目的

市民参加型の健康プログラムを推進し、地域の高齢者に対して定期的な運動機会を提供することにより、運動不足を解消するとともに、健康管理意識を醸成、地域の賑わいを創出し高齢者の生きがいづくりにつなげる。

事業効果

- 健康支援の催しには多くの住民が参加し、特にグランドゴルフに関しては毎週の催しとして根付き始め、参加者の運動不足の予防と解消に貢献した。
- 久しぶりに顔を合わせた地域住民同士が交流を再開させたり、グランドゴルフという共通の話題が出来たことで新たな交流が生まれたり、地域全体でのコミュニケーション活動が活発化した。

今後やってみたいこと

- グランドゴルフは催し以降も希望者が集まり、毎週実施しているため、更に参加者が増えるよう周知していく。
- 健康支援の催しに参加することが困難な住民への支援策として、スマホやタブレットを活用して参加できる仕組み（アプリの開発・運用等）を整える。

活動状況写真



健康フェア（体力測定）



健康フェア（グランドゴルフ）

光と食の祭典～いわきWinter Festival～

【実施団体】 公益社団法人いわき青年会議所
【実施場所】 いわき駅前（一般枠・新規事業）

〈一般枠〉
地域づくり団体の皆さんが行う地域の活性化に効果があると認められる取組みが対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）
【補助率】 2/3以内 【補助限度額】 500万円
【補助対象事業費の下限】 50万円

主な事業内容

①いわき駅前でのイルミネーション（イルミエールいわき）の実施

いわき駅前大通りにてイルミネーションの点灯を実施。（第1回イルミエールいわき）

②食のイベント（光と食の祭典～いわきWinter Festival～）の開催

地元飲食店が出店する食のイベントを開催。

新型コロナウイルス感染症対策のため、ドライブスルー形式で開催。

事業目的

コロナ禍で街中の活気が失われ、駅前が閑散としているなか、市民が互いに交流を図り、まちに賑わいを創出することのできる場を提供し地域を活性化させ、県内外からの交流人口の拡大につなげる。

事業効果

- ・ コロナの影響で空洞化がさらに深刻化した市街地に人の流れを創出できた。
- ・ 事業を通じて地元飲食店、県内飲食店へと足を運びきっかけをつくり、来場者の交流を促すことにより、活性化への足掛かりをつくることできた。

今後やってみたいこと

- ・ 市内の各地域で行うイルミネーションを同時点灯することで市内の一体感を演出し、市民の地域間交流が活発になることで各地域の活性化に繋げる。
- ・ スタンプラリー等の活用により、市民に様々な地域のイルミネーションを見てもらえるよう誘導し、「人の流れ」を創り出す。

活動状況写真



イルミエールいわき



光と食の祭典～いわきWinter Festival～

高校生が取り組む地球規模の環境問題プロジェクト

【実施団体】 特定非営利活動法人勿来まちづくりサポートセンター

【実施場所】 市内沿岸部（一般枠・新規事業）

〈一般枠〉

地域づくり団体の皆さんが行う地域の活性化に効果があると認められる取組みが対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】 2/3以内 【補助限度額】 500万円

【補助対象事業費の下限】 50万円

主な事業内容

①海ゴミ調査チームの結成

市内高校生が主体となった海ゴミ調査チームの立ちあげ。

②環境学習講座の開催・海ゴミ調査の実施、報告書の作成

海ゴミ調査チームを対象に環境学習講座の実施。

いわき市沿岸部の海底の海洋汚染に関わるゴミ調査を実施。

事業目的

近年環境汚染が深刻さを増す中、高校生が主体となっていわきの現状を調査し、市民を対象に周知することにより、環境問題を一人一人の生活と密接に関連した身近な課題であることを認知する効果を見込む。

事業効果

高校生が主体となって取り組む姿を伝えることで、海洋汚染等の環境問題に対する理解促進に繋がった。

今後やってみたいこと

- ・海ゴミ調査チームに参加する学校を増やす。
- ・圃場から河川を通り海に流出している農業で使われている徐放性肥料(被覆肥料)の肥料カプセルの調査を行う。

活動状況写真



バーチャルコットンツアー & SDGs研修受け入れ事業立ち上げプロジェクト

【実施団体】一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

【実施場所】市内（一般枠・新規事業）

〈一般枠〉

地域づくり団体の皆さんが行う地域の活性化に効果があると認められる取組みが対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】50万円

主な事業内容

①バーチャルコットンツアー（オンラインツアー）の実施

ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの取り組み紹介や、地域の魅力紹介などをオンラインツアー形式で配信。

②SDGs研修事業の立ちあげ（研修メニューの開発）

プロジェクトの取り組みがSDGsの17の開発目標に紐づけられることから、関連する研修や体験を提供するためのメニューの開発を実施。

事業目的

- ①地域外との新たな繋がりを生み出し、新たな魅力創出・発信につなげる。
- ②地域内の環境配慮型ライフスタイルなどに対する意識向上に寄与する。

事業効果

これまで、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの圃場に来訪することはあっても、周辺地域に足を延ばす機会のなかった方々に対して、オンラインツアーの中で地域紹介などを盛り込むことで、地域への関心の度合いを高めることができた。

今後やってみたいこと

ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの魅力を更に広く伝えられるようにするため、オンラインツアーに加え、リアルモニターツアーにもチャレンジする。

活動状況写真



オンラインコットンツアー



栽培に関する専門家指導

いわき地域のマリンスポーツ活性化による 風評払拭及び交流人口拡大事業

【実施団体】一般社団法人日本サーフィン連盟福島支部

【実施場所】四倉海岸（一般枠・新規事業）

〈一般枠〉

地域づくり団体の皆さんが行う地域の活性化に効果があると認められる取組みが対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】50万円

主な事業内容

①ビーチクリーン活動の実施

市民サーファーで砂浜の清掃活動を実施。

②四倉海岸でのサマーフェスティバルの開催

全日本級別選手権大会の日程に合わせ、全国から参加したサーフィン関係者や地元住民に対して、いわきの海の魅力を発信するイベントを開催。

事業目的

サーフィンやマリンスポーツによって「海のまち・いわき」をアピールすることにより、海への風評を払拭するとともに、交流・関係人口の拡大と地域経済の発展に貢献する。

事業効果

いわきの海岸に多くの人を呼び込んだことにより、周辺地域の商店街の活性化や観光業の貢献、海への風評払拭、交流・関係人口の拡大と地域経済の発展につなげることが出来た。

今後やってみたいこと

- ・いわきの海の魅力を知って人口の流出を防いだり、他県からの移住者が増加する取り組みをしていきたい。
- ・海への風評を払拭し、周辺地域の経済効果につながるように、海岸の利活用を中心とした「海のまち・いわき」を一層アピールしていきたい。

活動状況写真



ビーチクリーン活動



サマーフェスティバル

いわき市ワーケーション推進事業

【実施団体】いわき市シティセールス推進協議会

【実施場所】市内（一般枠・継続事業2年目）

〈一般枠〉

地域づくり団体の皆さんが行う地域の活性化に効果があると認められる取組みが対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】50万円

主な事業内容

①市内施設へのワーケーション環境整備

市内3施設にワークスペースの整備を実施。

②ワーケーションモデルプランの造成、モニターツアーの実施

趣味を伸ばす5種類のワーケーションプランを造成。

県外の企業に勤務する方に造成したプランの体験ツアーを実施。

事業目的

いわき市が有する様々な地域資源を活用したワーケーションの推進を図ることで、新たなライフスタイルに合わせた魅力ある取組みを進め、本市の更なる関係人口の拡大、移住・定住の促進に繋げる。

事業効果

- ・魅力的なプランを作り出すため、宿泊事業者が他業種との連携を模索する姿が見られた。
- ・ゴルフ場やサーフィンスクールなど地元のサービスと連携する様子が伺えた。

今後やってみたいこと

個人向けのワーケーションに加え、首都圏企業や副業人材に向けた地域課題を解決するようなプランを造成し、観光や余暇だけではなく、地域と交流を図るようなワーケーションを検討し、リピーターを増やすような取組みを実施したい。

活動状況写真



冬の風物詩づくり「クリスマスマーケット」開催事業

【実施団体】小名浜クリスマスマーケット実行委員会

【実施場所】小名浜地区（一般枠・継続事業2年目）

〈一般枠〉

地域づくり団体の皆さんが行う地域の活性化に効果があると認められる取組みが対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】50万円

主な事業内容

①小名浜クリスマスマーケットの開催

市内の事業者を中心に名店自慢の逸品やクラフト雑貨などを集めたマーケットを開催。

②本物のもみの木のビッグツリー及びイルミネーションの設置

イオンモール南側ペDESTリアンデッキの芝部を中心に海をイメージしたイルミネーション、ビッグクリスマスツリーを設置。

事業目的

小名浜の冬の風物詩づくりを進めることにより、アクアマリンパークにシーズンを問わず賑わいを創出し、交流スポットとしての役割を果たし、他地区から訪れる来港者に対する小名浜のお店のPRや地域経済への貢献につなげる。

事業効果

- ・イルミネーションについては、SNSでの写真投稿が多くの人を呼び、冬の風物詩として地域振興の効果があつた。
- ・マーケットは多様な事業者が一か所に集まることで、普段とは異なる客層へ格好のPR機会となり、抽選会での買い物券を通じ、イベントから街中へ人を流すこともできた。

今後やってみたいこと

- ・「海を意識したクリスマスツリー」から一歩先に踏み込み、プラごみ等、海の環境問題を意識したペットボトルツリーを地域の子供たちと制作し展示したい。

活動状況写真



ふくしまスポーツ未来プロジェクトinフラシティいわき

【実施団体】ふくしまスポーツ未来プロジェクトinフラシティいわき実行委員会

【実施場所】市内（一般枠・継続事業3年目）

〈一般枠〉

地域づくり団体の皆さんが行う地域の活性化に効果があると認められる取組みが対象。（既存事業・営利目的の事業は除く）

【補助率】2/3以内 【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】50万円

主な事業内容

①プロスポーツ選手等によるジュニア育成交流スポーツ教室の開催

地域の子ども達を対象に、スポーツ教室を開催。

②シンポジウム「いわきスポーツまちづくり研修会」の実施

各競技団体や地域の企業、団体とスポーツを活用した地域振興と人材育成について話し合うシンポジウムを開催。

事業目的

スポーツ施設等の地域資産を活用し、スポーツを通じた青少年の育成と、いわきの魅力発信による風評払拭、スポーツによる交流人口の拡大と地域活性化、地域のスポーツツーリズムの発展を目指す。

事業効果

地域の子供たちに、地元のスポーツを活用して様々なスポーツに興味を持ってもらうことができた。県内外のスポーツ関係者に地域の施設と気候等の魅力を感じて頂くことができ、官民連携した青少年の健康増進とスポーツツーリズム推進の機運醸成に寄与した。

今後やってみたいこと

本事業の実施によりつながった、競技団体と地域のネットワークを活用して、域外からの参加者を含めたスポーツによる交流人口の増加とスポーツ以外の地域も体験頂けるようなスポーツツーリズムを進める準備を進める。

活動状況写真



スポーツ体験教室



いわきスポーツまちづくり研修会

遠野和紙継承

【実施団体】遠野和紙系の会 【実施場所】遠野地区

（過疎・中山間地域活性化枠 収益事業（スタートアップ支援事業）・新規事業）

〈過疎・中山間地域活性化枠
収益事業（スタートアップ支援事業）〉

過疎・中山間地域の民間企業、協定団体が行う、地域に根ざした
収益活動の立ちあげに係る取組みが対象（既存事業を除く）

【補助率】9/10以内 【補助限度額】300万円（累計）

【補助対象事業費の下限】20万円

主な事業内容

①遠野和紙製品の販売

和紙店舗兼工房の「遠野紙子屋」の整備、器具等の購入。市内企業等との製品開発。

②出張紙漉き体験等体験学習の実施

市内外で出張体験や販売会などを実施。

事業目的

遠野地区の伝統工芸である遠野和紙に触れる機会を作り、域内外における認知度の底上げを図るとともに、将来の遠野和紙職人の人材発掘・育成につなげることで、伝統の承継を確たるものとすることを目指す。

事業効果

- ・和紙の販売店を開いた事により、一般の方に製品・体験等を提供する事が出来た。
- ・オンラインツアーや移住プログラムを行い、町に人を呼び込み地域活性に繋がった。

今後やってみたいこと

- ・遠野町産原料を使用した和紙と輸入原料を用いた和紙と差別化し、大量生産や価格帯にも対応したい。
- ・湯本温泉や宿泊施設と連携し市内ツアーなどにも、遠野紙子屋での和紙体験や出張紙漉き体験などを組み込んでもらえるようにしたい。

活動状況写真



店舗の開店



紙すき体験